

消 防 危 第 153 号
平成 28 年 8 月 9 日

各協会の役員を務められる会員 殿

消防庁危険物保安室長

非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いに関する調査について（協力依頼）

日頃より危険物行政については、かねてより特段の御配慮を頂き、厚く御礼申し上げます。

さて、国土強靱化基本計画（平成 26 年 6 月閣議決定）において、非常用電源設備等の確保により事業継続性の確保が求められており、東日本大震災を受けた事業継続時間の長期化等により非常用電源設備の燃料の貯蔵量や消費量の増加が見込まれております。

このことから、消防庁では一般社団法人日本ビルディング協会連合会をはじめとする関係業界、有識者等を委員とする「災害時非常用電源設備の強化等に係る危険物施設の安全対策のあり方に関する検討会」（第 1 回：平成 28 年 7 月 11 日実施）を開催し、オフィスビルや行政庁舎等における非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いの実態やニーズ等を調査し、危険物規制の合理化の必要性等について検討することとしました。

つきましては、下記のとおり、アンケートを実施させて頂くこととしました。非常用電源設備の現状と今後の増強を把握し、危険物規制の合理化の必要性を検討する上で、最低限お伺いしたい内容とさせて頂きました。お忙しい中大変恐縮ではございますが、アンケート調査票への御記入及び御回答の方、よろしくお願い申し上げます。なお、本調査の実施にあたり、一般社団法人日本ビルディング協会連合会に協力を要請し、御了解を頂いている旨申し添えます。

記

1 アンケート調査の実施方法

同封の C D に保存された様式 1 のアンケート調査票に御入力の上、電子メールにより消防庁危険物保安室担当者(t. yokoyama@soumu. go. jp)宛てに御回答願います。電子メールによる回答が難しい場合は、同封のアンケート調査票及び返信用封筒を用いて、郵送により御回答いただければ幸いです。詳しくは別添 1 の入力要領を御参照ください。

2 回答期限

平成 28 年 9 月 7 日（水）

3 情報の取り扱いについて

御回答頂いた内容については、本検討においてのみ使用することとし、建築物名称等が特定されない形で取りまとめさせていただきます。

(問い合わせ先)

消防庁危険物保安室 担当：鈴木、金子、横山

TEL 03-5253-7524 / FAX 03-5253-7534

E-mail t.yokoyama@soumu.go.jp

アンケート調査票

会社名・部署名	
担当者名	
Tel:	

ビルを複数所有している場合、代表するビル（非常用電源設備を設置しているビルのうち、非常用電源設備の燃料を最も多く貯蔵しているもの又は延べ面積が最も大きいもの）1 つについて御回答ください。

1. 建築物の概要について

(1) 建築物名称

--

(2) 住所

--

(3) 竣工時期

昭和		年
平成		年

(4) 階数、延床面積

地上		階
地下		階
延床面積		m ²

(5) 用途（複数選択可）

	事務所		宿泊施設
	商業施設		医療施設
	金融施設		居住施設
	その他	()	

2. 非常用電源設備における危険物の貯蔵・消費の実態

(1) 非常用電源設備について

a. 種類（複数選択可）

	自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）
	自家発電設備（ガスを燃料とするもの）
	その他 ()

ここにチェックが無い場合、ここでアンケートは終了です（これ以降の記載は不要です）。御協力ありがとうございました。

b. 自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）の詳細について

施設①		
・施設区分について		
	危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()
・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所		
	屋上	
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働想定時間		
	時間	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

施設②		
・施設区分について		
	危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()
・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所		
	屋上	
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働時間		
	時間	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

施設③		
・施設区分について		
	危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()
・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所		
	屋上	
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働時間		
	時間	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

(2) (1) b. の非常用電源設備（自家発電設備）へ燃料を供給するタンク等の燃料の貯蔵について

施設①		
・施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他	()
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()

施設②		
・施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他	()
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()

施設③		
・施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他	()
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()

c. 非常用電源設備の増強を計画した当初、消防法令上の基準を満たさなかった項目（複数選択可）

(a) 非常用電源設備について

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること（屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること）
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること（指定数量未満とすること）
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

(b) 非常電源設備へ燃料を供給するタンクについて

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク（屋内タンク貯蔵所）の貯蔵量に制限があること（指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること）
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

d. c. の基準不適合項目について、基準に適合させるための計画の変更事項

例)	・建築物内に耐火構造のタンク専用室を複数設けた。 ・1日当たりの最大稼働時間を決めて、制限を超えないように運用している。

3. 大規模災害時の業務継続時間の長期化を踏まえた今後の設備の増強について

（1）大規模災害に備えた、今後の非常用電源設備等の増強計画の有無



こちら以降の3. の項目は記載不要です。
4. から入力をお願いいたします。

	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の1日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他（



※選択した項目について具体的な内容を入力
例) ③ 1日あたりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加する計画を検討している。

(2) (1) の計画に基づき増強した場合に、消防法令上の基準に適合しなくなるものについて(複数選択可)

a. 非常用電源設備について

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること(屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること)
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること(指定数量未満とすること)
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

b. 非常用電源設備へ燃料を供給するタンクについて

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク(屋内タンク貯蔵所)の貯蔵量に制限があること(指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること)
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

(3) (2) の基準不適合項目について、計画の変更の検討や、管轄の消防機関への相談をしている場合、その内容を入力してください。

4. その他

その他、今回の調査に関連して御意見等あれば、入力してください。

ここでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

アンケート調査票

会社名・部署名	〇〇会社 〇〇課
担当者名	〇〇 〇〇
Tel:	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

ビルを複数所有している場合、代表するビル（非常用電源設備を設置しているビルのうち、非常用電源設備の燃料を最も多く貯蔵しているもの又は延べ面積が最も大きいもの）1 つについて御回答ください。

1. 建築物の概要について

(1) 建築物名称

建築物の名称を入力して下さい。
※当該内容を公表することはありません。

(2) 住所

建築物の所在地を入力して下さい。
※当該内容を公表することはありません。

(3) 竣工時期

建築物の竣工時期を入力して下さい。

昭和

年

平成

年

(4) 階数、延床面積

建築物の階数及び延床面積を入力して下さい。

地上

階

地下

階

延床面積

m²

(5) 用途（複数選択可）

建築物の主な用途について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。複数の用途がある場合は該当する箇所全てを選択して下さい。
その他を選択した場合は、括弧内に用途を入力して下さい。

	事務所		宿泊施設
	商業施設		医療施設
	金融施設		居住施設
	その他	()	

2. 非常用電源設備における危険物の貯蔵・消費の実態

(1) 非常用電源設備について

非常用電源設備の種類について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。複数の種類の異なる非常用電源設備が設置されている場合は該当する箇所全てを選択して下さい。

a. 種類（複数選択可）

	自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）
	自家発電設備（ガスを燃料とするもの）
	その他 ()

こちらにチェックが無い場合、ここでアンケートは終了です（これ以降の記載は不要です）。御協力ありがとうございました。

b. 自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）の詳細について

施設①			施設②			施設③		
・施設区分について			消防機関への届出の種別について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。			・施設区分について		
	危険物一般取扱所			危険物一般取扱所			危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所			少量危険物取扱所			少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について			消防機関に届出した際の燃料（危険物）について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。 その他を選択した場合は、括弧内に危険物名を入力して下さい。			・燃料（危険物）の種別について		
	灯油			灯油			灯油	
	軽油			軽油			軽油	
	重油			重油			重油	
	ガソリン			ガソリン			ガソリン	
	その他（ ）			その他（ ）			その他（ ）	
・許可数量・倍数			消防機関に届出した際の燃料（危険物）の許可数量・倍数を入力して下さい。			・許可数量・倍数		
	リットル			トル			リットル	
	倍			倍			倍	
・設置場所			非常用電源設備の設置場所について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択し、階数を入力して下さい。			・設置場所		
	屋上						屋上	
		階（地上）			階（地上）			階（地上）
		階（地階）			階（地階）			階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置			別建屋又は屋外単独設置			別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量			非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量を記入して下さい。			・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル						リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働想定時間			非常用電源設備の1日あたりの稼働想定時間を記入して下さい。			・非常用電源設備の1日あたりの稼働時間		
	時間						時間	
・設置時期			設置時期を入力して下さい。			・設置時期		
昭和		年	昭和		年	自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）へ燃料を供給するタンク等について、消防機関へ届出している内容の詳細を入力して下さい。また、複数ある場合は施設②及び施設③の欄に入力して下さい。 （消防機関への届出や標識で確認が可能です。）		
平成		年	平成		年			

(2) (1) b. の非常用電源設備（自家発電設備）へ燃料を供給するタンク等の燃料の貯蔵について

施設①			施設②			施設③		
・施設区分について			消防機関への届出の種別について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。 その他を選択した場合は、括弧内に内容を入力して下さい。			施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所			屋外タンク貯蔵所			屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所			屋内タンク貯蔵所			屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所			地下タンク貯蔵所			地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他（ ）			その他（ ）			その他（ ）	
・燃料（危険物）の種別について			消防機関に届出した際の燃料（危険物）について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。 その他を選択した場合は、括弧内に危険物名を入力して下さい。			・燃料（危険物）の種別について		
	灯油			灯油			灯油	
	軽油			軽油			軽油	
	重油			重油			重油	
	ガソリン			ガソリン			ガソリン	
	その他（ ）			その他（ ）			その他（ ）	

・許可数量・倍数

リットル

倍

・設置場所（屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力）

階（地上）

階（地階）

別建屋

・設置時期

昭和

年

平成

年

消防機関に届出した際の燃料(危険物)の許可数量・倍数を入力して下さい。

※屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力して下さい。
屋内タンク貯蔵所の設置場所について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択し、階数を入力して下さい。

設置時期を入力して下さい。

・許可数量・倍数

リットル

倍

・設置場所（屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力）

階（地上）

階（地階）

別建屋

・設置時期

昭和

年

平成

年

(3) 設備の増強について

a. 阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害を踏まえた設備の増強の有無

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。

なし



こちら以降の2. の項目は記載不要です。
3. から入力をお願いいたします。

あり



	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の1日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他 ()



※選択した項目について具体的な内容を入力
例) ③ 1日当たりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加した。

選択した項目について、具体的な内容を入力して下さい。

b. 増強を実施した時期

昭和

年

平成

年

非常用電源設備や燃料タンクを増強した時期を入力して下さい。

c. 非常用電源設備の増強を計画した当初、消防法令上の基準を満たさなかった項目（複数選択可）

(a) 非常用電源設備について

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること（屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること）
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること（指定数量未満とすること）
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

(b) 非常電源設備へ燃料を供給するタンクについて

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク（屋内タンク貯蔵所）の貯蔵量に制限があること（指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること）
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

d. c. の基準不適合項目について、基準に適合させるための計画の変更事項

例）

- ・建築物内に耐火構造のタンク専用室を複数設けた。
- ・1日当たりの最大稼働時間を決めて、制限を超えないように運用している。

cで選択した項目について、基準に適合させるための計画の変更事項がありましたら、その内容を入力して下さい。

3. 大規模災害時の業務継続時間の長期化を踏まえた今後の設備の増強について

（1）大規模災害に備えた、今後の非常用電源設備等の増強計画の有無

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。

なし

あり

こちら以降の3. の項目は記載不要です。
4. から入力をお願いいたします。

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、括弧内に内容を入力して下さい。

	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の1日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他 ()



※選択した項目について具体的な内容を入力
例) ③ 1日あたりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加する計画を検討している。

選択した項目について、具体的な内容を入力して下さい。

(2) (1) の計画に基づき増強した場合に、消防法令上の基準に適合しなくなるものについて(複数選択可)

a. 非常用電源設備について

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること(屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること)
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること(指定数量未満とすること)
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

b. 非常用電源設備へ燃料を供給するタンクについて

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク(屋内タンク貯蔵所)の貯蔵量に制限があること(指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること)
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

(3) (2) の基準不適合項目について、計画の変更の検討や、管轄の消防機関への相談をしている場合、その内容を入力してください。

(2)で選択した項目について、基準に適合させるための計画の変更事項がありましたら、その内容を入力して下さい。

4. その他

その他、今回の調査に関連して御意見等あれば、入力してください。

ここでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

消 防 危 第 153 号
平成 28 年 8 月 9 日

各都道府県・各指定都市
消防防災主管部長 殿

消防庁危険物保安室長
(公 印 省 略)

非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いに関する調査について（協力依頼）

日頃より危険物行政については、かねてより特段の御配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、国土強靱化基本計画（平成 26 年 6 月閣議決定）において、非常用電源設備等の確保により事業継続性の確保が求められており、東日本大震災を受けた事業継続時間の長期化等により非常用電源設備の燃料の貯蔵量や消費量の増加が見込まれております。

このことから、消防庁では有識者、関係業界等を委員とする「災害時非常用電源設備の強化等に係る危険物施設の安全対策のあり方に関する検討会（座長：小林恭一東京理科大学総合研究院教授）」（第 1 回：平成 28 年 7 月 11 日実施）を開催し、オフィスビルや行政庁舎等における非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いの実態やニーズ等を調査し、危険物規制の合理化の必要性等について検討することとしました。

つきましては、下記のとおり調査させていただきますので、お忙しい中大変恐縮ではございますが、御回答くださいますようお願いいたします。

記

1 実施要領

様式 1 に必要事項を御入力の上、電子メールで消防庁危険物保安室担当者（t.yokoyama@soumu.go.jp）宛てに御回答願います。詳しくは別添 1 の入力要領を御参照ください。

2 回答期限

平成 28 年 9 月 7 日（水）

3 参考

オフィスビル等を対象とした調査は別途実施しております（別添 2 参照）。

（問い合わせ先）

消防庁危険物保安室 担当：鈴木、金子、横山

TEL 03-5253-7524 / FAX 03-5253-7534

E-mail t.yokoyama@soumu.go.jp

アンケート調査票

都道府県・市町村 所属	
担当者名	
Tel:	

行政庁舎において、事業継続の確保のための非常用電源設備が設置がされている庁舎について御回答ください。複数所有している場合、代表する庁舎（非常用電源設備を設置している庁舎のうち、非常用電源設備の燃料を最も多く貯蔵しているもの又は延べ面積が最も大きいもの）1つについて御回答ください。

1. 建築物の概要について

(1) 建築物名称

(2) 住所

(3) 竣工時期

昭和		年
平成		年

(4) 階数、延床面積

地上		階
地下		階
延床面積		m ²

(5) 用途（複数選択可）

	事務所		宿泊施設
	商業施設		医療施設
	金融施設		居住施設
	その他	()	

2. 非常用電源設備における危険物の貯蔵・消費の実態

(1) 非常用電源設備について

a. 種類（複数選択可）

	自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）
	自家発電設備（ガスを燃料とするもの）
	その他 ()

こちらにチェックが無い場合、ここでアンケートは終了です（これ以降の記載は不要です）。御協力ありがとうございました。

b. 自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）の詳細について

施設①		
・施設区分について		
	危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()
・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所		
	屋上	
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働想定時間		
	時間	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

施設②		
・施設区分について		
	危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()
・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所		
	屋上	
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働時間		
	時間	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

施設③		
・施設区分について		
	危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()
・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所		
	屋上	
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働時間		
	時間	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

(2) (1) b. の非常用電源設備（自家発電設備）へ燃料を供給するタンク等の燃料の貯蔵について

施設①		
・施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他	()
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()

施設②		
・施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他	()
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()

施設③		
・施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他	()
・燃料（危険物）の種別について		
	灯油	
	軽油	
	重油	
	ガソリン	
	その他	()

・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所（屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力）		
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所（屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力）		
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

・許可数量・倍数		
	リットル	
	倍	
・設置場所（屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力）		
		階（地上）
		階（地階）
	別建屋	
・設置時期		
昭和		年
平成		年

（３）設備の増強について

a. 阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害を踏まえた設備の増強の有無

	なし
--	----



こちら以降の2. の項目は記載不要です。
3. から入力をお願いいたします。

	あり
--	----



	①燃料タンクの更新または増設	
	②非常用電源設備の更新又は増設	
	③非常用電源設備の1日あたりの稼働時間の延長	
	④設備・機器の耐震化	
	⑤その他	()



※選択した項目について具体的な内容を入力
例) ③ 1日当たりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加した。

b. 増強を実施した時期

昭和		年
平成		年

c. 非常用電源設備の増強を計画した当初、消防法令上の基準を満たさなかった項目（複数選択可）

(a) 非常用電源設備について

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること（屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること）
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること（指定数量未満とすること）
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

(b) 非常電源設備へ燃料を供給するタンクについて

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク（屋内タンク貯蔵所）の貯蔵量に制限があること（指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること）
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

d. c. の基準不適合項目について、基準に適合させるための計画の変更事項

例)	・建築物内に耐火構造のタンク専用室を複数設けた。 ・1日当たりの最大稼働時間を決めて、制限を超えないように運用している。

3. 大規模災害時の業務継続時間の長期化を踏まえた今後の設備の増強について

（1）大規模災害に備えた、今後の非常用電源設備等の増強計画の有無



こちら以降の3. の項目は記載不要です。
4. から入力をお願いいたします。

	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の1日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他 ()



※選択した項目について具体的な内容を入力
例) ③ 1日当たりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加する計画を検討している。

(2) (1) の計画に基づき増強した場合に、消防法令上の基準に適合しなくなるものについて(複数選択可)

a. 非常用電源設備について

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること(屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること)
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること(指定数量未満とすること)
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

b. 非常用電源設備へ燃料を供給するタンクについて

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク(屋内タンク貯蔵所)の貯蔵量に制限があること(指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること)
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

(3) (2) の基準不適合項目について、計画の変更の検討や、管轄の消防機関への相談をしている場合、その内容を入力してください。

4. その他

その他、今回の調査に関連して御意見等あれば、入力してください。

ここでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

アンケート調査票

都道府県・市町村 所属	〇〇県(市) 〇〇課
担当者名	〇〇 〇〇
Tel:	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

行政庁舎において、事業継続の確保のための非常用電源設備が設置がされている庁舎について御回答ください。複数所有している場合、代表する庁舎（非常用電源設備を設置している庁舎のうち、非常用電源設備の燃料を最も多く貯蔵しているもの又は延べ面積が最も大きいもの）1つについて御回答ください。

1. 建築物の概要について

(1) 建築物名称

建築物の名称を入力して下さい。
※当該内容を公表することはありません。

(2) 住所

建築物の所在地を入力して下さい。
※当該内容を公表することはありません。

(3) 竣工時期

建築物の竣工時期を入力して下さい。

昭和

年

平成

年

(4) 階数、延床面積

建築物の階数及び延床面積を入力して下さい。

地上

階

地下

階

延床面積

m²

(5) 用途（複数選択可）

建築物の主な用途について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。複数の用途がある場合は該当する箇所全てを選択して下さい。
その他を選択した場合は、括弧内に用途を入力して下さい。

	事務所		宿泊施設
	商業施設		医療施設
	金融施設		居住施設
	その他	()	

2. 非常用電源設備における危険物の貯蔵・消費の実態

(1) 非常用電源設備について

非常用電源設備の種類について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。複数の種類の異なる非常用電源設備が設置されている場合は該当する箇所全てを選択して下さい。

a. 種類（複数選択可）

	自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）
	自家発電設備（ガスを燃料とするもの）
	その他 ()

こちらにチェックが無い場合、ここでアンケートは終了です（これ以降の記載は不要です）。御協力ありがとうございました。

b. 自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）の詳細について

施設①			施設②			施設③		
・施設区分について			消防機関への届出の種別について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。			・施設区分について		
	危険物一般取扱所			危険物一般取扱所			危険物一般取扱所	
	少量危険物取扱所			少量危険物取扱所			少量危険物取扱所	
・燃料（危険物）の種別について			消防機関に届出した際の燃料（危険物）について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。 その他を選択した場合は、括弧内に危険物名を入力して下さい。			・燃料（危険物）の種別について		
	灯油			灯油			灯油	
	軽油			軽油			軽油	
	重油			重油			重油	
	ガソリン			ガソリン			ガソリン	
	その他（ ）			その他（ ）			その他（ ）	
・許可数量・倍数			消防機関に届出した際の燃料（危険物）の許可数量・倍数を入力して下さい。			・許可数量・倍数		
	リットル			トル			リットル	
	倍			倍			倍	
・設置場所			非常用電源設備の設置場所について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択し、階数を入力して下さい。			・設置場所		
	屋上						屋上	
		階（地上）			階（地上）			階（地上）
		階（地階）			階（地階）			階（地階）
	別建屋又は屋外単独設置			別建屋又は屋外単独設置			別建屋又は屋外単独設置	
・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量			非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量を記入して下さい。			・非常用電源設備の1時間あたりの燃料消費量		
	リットル			リットル			リットル	
・非常用電源設備の1日あたりの稼働想定時間			非常用電源設備の1日あたりの稼働想定時間を記入して下さい。			・非常用電源設備の1日あたりの稼働時間		
	時間			時間			時間	
・設置時期			設置時期を入力して下さい。			・設置時期		
昭和		年	昭和		年	自家発電設備（灯油や軽油等の危険物を燃料とするもの）へ燃料を供給するタンク等について、消防機関へ届出している内容の詳細を入力して下さい。また、複数ある場合は施設②及び施設③の欄に入力して下さい。 （消防機関への届出や標識で確認が可能です。）		
平成		年	平成		年			

(2) (1) b. の非常用電源設備（自家発電設備）へ燃料を供給するタンク等の燃料の貯蔵について

施設①			施設②			施設③		
・施設区分について			消防機関への届出の種別について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。 その他を選択した場合は、括弧内に内容を入力して下さい。			施設区分について		
	屋外タンク貯蔵所			屋外タンク貯蔵所			屋外タンク貯蔵所	
	屋内タンク貯蔵所			屋内タンク貯蔵所			屋内タンク貯蔵所	
	地下タンク貯蔵所			地下タンク貯蔵所			地下タンク貯蔵所	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋外タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（屋内タンク）	
	少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）			少量危険物貯蔵取扱所（地下タンク）	
	その他（ ）			その他（ ）			その他（ ）	
・燃料（危険物）の種別について			消防機関に届出した際の燃料（危険物）について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。 その他を選択した場合は、括弧内に危険物名を入力して下さい。			・燃料（危険物）の種別について		
	灯油			灯油			灯油	
	軽油			軽油			軽油	
	重油			重油			重油	
	ガソリン			ガソリン			ガソリン	
	その他（ ）			その他（ ）			その他（ ）	

・許可数量・倍数

リットル

倍

・設置場所（屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力）

階（地上）

階（地階）

別建屋

・設置時期

昭和

年

平成

年

消防機関に届出した際の燃料(危険物)の許可数量・倍数を入力して下さい。

※屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力して下さい。
屋内タンク貯蔵所の設置場所について、該当する箇所にプルダウンから「○」を選択し、階数を入力して下さい。

設置時期を入力して下さい。

・許可数量・倍数

リットル

倍

・設置場所（屋内タンク貯蔵所の場合のみ入力）

階（地上）

階（地階）

別建屋

・設置時期

昭和

年

平成

年

(3) 設備の増強について

a. 阪神・淡路大震災や東日本大震災等の大規模災害を踏まえた設備の増強の有無

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。

なし



こちら以降の2. の項目は記載不要です。
3. から入力をお願いいたします。

あり



	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の1日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他 ()



※選択した項目について具体的な内容を入力
例) ③ 1日当たりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加した。

選択した項目について、具体的な内容を入力して下さい。

b. 増強を実施した時期

昭和

年

平成

年

非常用電源設備や燃料タンクを増強した時期を入力して下さい。

c. 非常用電源設備の増強を計画した当初、消防法令上の基準を満たさなかった項目（複数選択可）

(a) 非常用電源設備について

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること（屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること）
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること（指定数量未満とすること）
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

(b) 非常電源設備へ燃料を供給するタンクについて

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク（屋内タンク貯蔵所）の貯蔵量に制限があること（指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること）
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他（下記の空白に内容を入力して下さい）

d. c. の基準不適合項目について、基準に適合させるための計画の変更事項

例）

- ・建築物内に耐火構造のタンク専用室を複数設けた。
- ・1日当たりの最大稼働時間を決めて、制限を超えないように運用している。

cで選択した項目について、基準に適合させるための計画の変更事項がありましたら、その内容を入力して下さい。

3. 大規模災害時の業務継続時間の長期化を踏まえた今後の設備の増強について

（1）大規模災害に備えた、今後の非常用電源設備等の増強計画の有無

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。

なし

あり

こちら以降の3. の項目は記載不要です。
4. から入力をお願いいたします。

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、括弧内に内容を入力して下さい。

	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の1日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他 ()



※選択した項目について具体的な内容を入力
例) ③ 1日あたりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加する計画を検討している。

選択した項目について、具体的な内容を入力して下さい。

(2) (1) の計画に基づき増強した場合に、消防法令上の基準に適合しなくなるものについて(複数選択可)

a. 非常用電源設備について

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限があること(屋上に設けるものにあつては指定数量の10倍未満とすること)
	③非常用電源設備に設ける危険物を取り扱うタンクの容量に制限があること(指定数量未満とすること)
	④屋上に設ける非常用電源設備は、屋上に固定すること
	⑤屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの周囲に3mの空地を保有すること
	⑥屋上に設ける非常用電源設備は、囲いの内部を危険物が浸透しない構造とし、傾斜や貯留設備を設けること
	⑦危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	⑧その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

b. 非常用電源設備へ燃料を供給するタンクについて

該当する箇所にプルダウンから「○」を選択して下さい。その他を選択した場合は、内容を入力して下さい。

	①無し
	②屋内に設ける燃料タンク(屋内タンク貯蔵所)の貯蔵量に制限があること(指定数量の40倍以下又は2万リットル以下とすること)
	③危険物を取り扱う設備・機器の耐震性を確保すること
	④その他(下記の空白に内容を入力して下さい)

(3) (2) の基準不適合項目について、計画の変更の検討や、管轄の消防機関への相談をしている場合、その内容を入力してください。

(2)で選択した項目について、基準に適合させるための計画の変更事項がありましたら、その内容を入力して下さい。

4. その他

その他、今回の調査に関連して御意見等あれば、入力してください。

ここでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

消 防 危 第 153 号
平成 28 年 8 月 9 日

東京消防庁・各指定都市消防長 殿

消防庁危険物保安室長
(公 印 省 略)

非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いに関する調査について（協力依頼）

日頃より危険物行政については、かねてより特段の御配慮をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、国土強靱化基本計画（平成 26 年 6 月閣議決定）において、非常用電源設備等の確保により事業継続性の確保が求められており、東日本大震災を受けた事業継続時間の長期化等により非常用電源設備の燃料の貯蔵量や消費量の増加が見込まれております。

このことから、消防庁では有識者、関係業界等を委員とする「災害時非常用電源設備の強化等に係る危険物施設の安全対策のあり方に関する検討会（座長：小林恭一東京理科大学総合研究院教授）」（第 1 回：平成 28 年 7 月 11 日実施）を開催し、オフィスビルや行政庁舎等における非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いの実態等を把握するとともに、当該貯蔵又は取扱いに係る消防機関の指導状況を調査し、危険物規制の合理化の必要性等について検討することとしました。

つきましては、各消防本部の御意見を参考にし、下記のとおり調査させていただきますので、お忙しい中大変恐縮ではございますが、御回答くださいますようお願いいたします。

記

1 実施要領

様式 1 に必要事項を御入力の上、電子メールで消防庁危険物保安室担当者(t.yokoyama@soumu.go.jp)宛てに御回答願います。詳しくは別添 1 の入力要領を御参照ください。

2 回答期限

平成 28 年 8 月 31 日（水）

（問い合わせ先）

消防庁危険物保安室 担当：鈴木、金子、横山

TEL 03-5253-7524 / FAX 03-5253-7534

E-mail t.yokoyama@soumu.go.jp

アンケート調査票

消防本部名	
担当者名	
Tel:	

1.非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いに係る指導の実態について

（１）非常用電源設備及び燃料タンクに関する危険物施設に対する指導の考え方について

a. 非常用電源設備の１日当たりの燃料消費量はどのように算出しているか。

例） ・ 1 時間当たりの消費量×稼働想定時間
・ 1 時間当たりの消費量×24時間

b. 屋上にキュービクル式の非常用電源設備を設置する場合について

①屋上にキュービクル式の非常用電源設備を設置する場合、どのような指導をしているか。

例） ○○の場合、危険物の規制に関する規則第28条の57第４項第３号の「高さ0.15m以上の囲い」や第８号の「適当な傾斜及び貯留設備」を省略可能と指導している。

② ①の指導のほか、屋上に設置されたグレーチング状の構造物の上にキュービクル式の非常用電源設備を設置する場合、どのような指導をしているか。

例) 危険物の規制に関する規則第28条の57第4項第2号に規定された「危険物を取り扱う設備は、屋上に固定すること」について判断するため、グレーチング状の構造物の構造計算結果を提出するよう指導している。

c. 非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限（屋上に設ける非常用電源設備にあつては、10倍未満等）があるが、それを超える消費量が見込まれる場合、どのような指導をしているか。

d. 危険物を取り扱う配管について、地震対策として指導している事項があるか。（配管の耐震性を確保するための指導や、配管からの漏えい対策に係る指導等）

（２）非常用電源設備及び燃料タンクに関する危険物施設に対する特例（危険物の規制に関する政令第23条）の適用について（自由回答）

（３）非常用電源設備及び燃料タンクに関する危険物施設に対する指導で苦慮していること及び対策について（自由回答）

2.大規模災害時の業務継続時間の長期化を踏まえた今後の設備の増強に対する指導状況について

（１）関係者からの設備の増強に係る相談の有無

なし

あり



	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の１日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他（ ）



(2) (1) で選択した項目の具体的な内容について

例) ③ 1日当たりの稼働時間の延長 稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加したいとの相談を受けた。



(3) (2) の相談に対する指導について

--

3.指導基準の策定等について

(1) 指導基準策定の有無

(有の場合は該当箇所の抜粋の添付をお願いいたします。)

	あり
	なし

(2) 関係する指導基準の策定や改正の予定について (自由回答)

ここでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。

アンケート調査票

消防本部名	〇〇市消防本部 〇〇課
担当者名	〇〇 〇〇
Tel:	〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

1.非常用電源設備の燃料の貯蔵又は取扱いに係る指導の実態について

（１）非常用電源設備及び燃料タンクに関する危険物施設に対する指導の考え方について

a. 非常用電源設備の１日当たりの燃料消費量はどのように算出しているか。

指導内容について入力して下さい。

例） ・ １時間当たりの消費量×稼働想定時間
・ １時間当たりの消費量×24時間

b. 屋上にキュービクル式の非常用電源設備を設置する場合について

指導内容について入力して下さい。

①屋上にキュービクル式の非常用電源設備を設置する場合、どのような指導をしているか。

例） 〇〇の場合、危険物の規制に関する規則第28条の57第４項第３号の「高さ0.15m以上の囲い」や第８号の「適当な傾斜及び貯留設備」を省略可能と指導している。

② ①の指導のほか、屋上に設置されたグレーチング状の構造物の上にキュービクル式の非常用電源設備を設置する場合、どのような指導をしているか。

指導内容について入力して下さい。

例) 危険物の規制に関する規則第28条の57第4項第2号に規定された「危険物を取り扱う設備は、屋上に固定すること」について判断するため、グレーチング状の構造物の構造計算結果を提出するよう指導している。

c. 非常用電源設備における1日あたりの危険物の消費量に制限（屋上に設ける非常用電源設備にあつては、10倍未満等）があるが、それを超える消費量が見込まれる場合、どのような指導をしているか。

指導内容について入力して下さい。
また、質問内容以外の指導方法等がありましたら併せて入力して下さい。

d. 危険物を取り扱う配管について、地震対策として指導している事項があるか。（配管の耐震性を確保するための指導や、配管からの漏えい対策に係る指導等）

指導内容について入力して下さい。

付例（危険物の規制に関する政令第25条）を適用した事例がありましたら
入力して下さい。

招待状の宛先に間違っていないことを改めて確認し、内容について入力して下さい。

関係者や業者からの相談の有無について、該当する箇所にはプルダウンから「○」を選択して下さい。

	あり
--	----



	①燃料タンクの更新または増設
	②非常用電源設備の更新又は増設
	③非常用電源設備の 1 日あたりの稼働時間の延長
	④設備・機器の耐震化
	⑤その他 ()



38

(2) (1) で選択した項目の具体的な内容について

例) ③ 1日当たりの稼働時間の延長
稼働時間(消費量)を8時間(許可数量2,000リットル)から24時間(許可数量6,000リットル)に増加したいとの相談を受けた。

(1)で選択した項目について、具体的な内容を入力して下さい。



(3) (2) の相談に対する指導について

(2)の相談に対する指導について、具体的な内容を入力して下さい。

3.指導基準の策定等について

(1) 指導基準策定の有無

(有の場合は該当箇所の抜粋の添付をお願いいたします。)

	あり
	なし

消防本部で指導基準や運用基準等の策定の有無について、プルダウンから該当する方に「○」を選択して下さい。

(2) 関係する指導基準の策定や改正の予定について (自由回答)

指導基準の策定や改正の予定について入力して下さい。

ここでアンケートは終了です。御協力ありがとうございました。